

平成30年度守谷市自治会連絡協議会第4回代議員会

○日 時 平成30年12月18日（火）
午後6時30分～午後7時53分

○開催場所 守谷市役所 大会議室

○出席者 ・自治会連絡協議会代議員（代議員14名）
・市民協働推進課職員（3名）

○協議事項（1）道路愛称プロジェクトについて

第3回代議員会で継続協議事項とした点（プロジェクトをどのように進めるのか・どういった内容で進めるのか等）について協議を行った。

《事務局からの資料説明等》

- 前回の代議員会での意見等を踏まえ、今後どのように協議を進め、決定・実施しなければならないことを整理した。
- はじめに、「実施方法（実施主体）をどうするか」を決定する必要がある。市へ企画書を提出する場合と、自治会連絡協議会が主体となってプロジェクトを実施する場合が考えられる。
- 市に企画書を提出する場合は、今年度中に少なくともあと1回会議を開催し、企画書の内容を確定させ、提案・終了となる。道路に愛称を設定することを主眼とするため、企画書へは事業詳細（路線の本数や設定方法等）を記載せずに、事業詳細・内容等については市に自由度を持たせることも考えられる。
- 自治会連絡協議会で実施する場合は、実施にむけて協議・決定しなければならないこと（路線の考え方、本数、募集方法等）が多々あるので、今年度中に少なくとも2～3回は会議を開催しないと実施できないと思われる。

《意見等》

（代議員）「道路に愛称をつけてはどうだろう」というアイディアは、今までにないアイディアだと思うので、そういった内容の企画・提案は良いと思う。

(代議員) 自治会連絡協議会が主体となってプロジェクトを実施するのは無理がある。仮に実施したとしても、最終的には市が主体となると思う。そもそも当初の目的・内容としては「市への提言に関する内容」の話であったと思うので、市に企画案を提案する方向でいいのではないか。国体の時期に併せて実施できたらなお良いと思う。

(代議員) 市で実施を考えてもらった方が良い。路線の設定等、何かを決める際には、町内会を代表する「区長」という立場もあるので、自分の地域を第一に考えてしまう恐れがある。プロジェクトを市全体で見ることが難しくなるかもしれない。

(代議員) 市に提案して、協力することになれば一緒に実施することも考えられる。ただ、提案してみないことには市の考えも分からないので、まずは提案してみてはどうか。

(代議員) 市に提案・提言することが、この会の目的・前提だと思う。企画を提案して、実施する場合は市が詳細を決めればいい。道路に愛称をつけることについてのアンケートを実施するのもアリだと思う。

(代議員) 実際問題として、企画の立案・実施等、全て自治会連絡協議会でできるものではない。

(代議員) 企画書を市に提出したとしても、市が実施できるか（実施するか）分からなければ、何度企画書を出しても意味がないのではないか。

(代議員) 実施に関して、広報もりやでアンケートを実施してみてもいい。

(代議員) 広報もりやでアンケートをとることは難しいと思う。広報もりやでアンケートをとることで、実施ありきのようになってしまう。

(代議員) 企画書を提出して、プロジェクトを実施するかどうかは市に考えてもらう。我々には予算もない。「愛称をつけてもらいたい」ということが主の目的であるので、愛称をつけてもらえるのであれば詳細はお任せするといったような提案・提言でいいと考える。

(代議員) 市長がこの事業に前向きなのであれば、企画を提案することで良いと思う。自治会連絡協議会ではできない。

《協議結果》

- 市に企画書を提出する（自治会連絡協議会からのアイデアとして提案する）。
- 路線の設定等の詳細は自治会連絡協議会で決めず、市が実施することになった際に決めてもらう（市に自由度を持たせる）。
- 企画書案をまとめ、次回会議で企画書を確定させる。

（代議員）次回の会議の際に、参考として市内6地区の地図を示してほしい。

○協議事項（2）その他

①代議員からの提案

（代議員）この場を借りて、皆さんと協議したい事項が3点ある。1つ目は「まちづくり協議会について」。現在、まちづくり協議会の設立に向けて地域福祉活動計画実行委員会を中心に協議がされているようだが、「まちづくり」には自治会町内会も関わることであるから、自治会連絡協議会でも「まちづくり協議会」について協議する必要があるのではないか。2つ目は「自治会員の確保について」。私の地区では会員が減少してきており、住んでいても加入しない人がいる。会員の確保について他地区の状況等をお聞きしたい。3つ目は「市街の活性化」について。保健センター移転の話聞いた。保健センターが移転してしまうと、旧道に人が少なくなってしまう、近隣町内会（上町、仲町、下町、下新田等）が寂れてしまう。市街の活性化について話をしたい。

（代議員）まちづくり協議会は地域福祉活動計画実行委員会を中心に、協議が進んでいる地区もあるが、守谷地区は進んでいない。

（代議員）守谷地区以外の地区の進捗はどうか。

（会長）大野地区は準備会を立ち上げて協議を行っている。区長は1年交代の地区が多いので参画は難しいことから、1年で区長が交代しても話が途切れないように説明を行うなど、良い関係を作る方法を検討している。

（代議員）みずき野地区は他の地区と状況が違い、1地区1町内会である。町内会が行っている活動内容が、まちづくり協議会が実施しようとしている内容に近いものがあるので、平たく言えば「町内会＝まちづくり協議会」という感じで動きつつある。他地区では様々な苦労があるようだが、みずき野はそのような苦労はないので、参考にならないかもしれない。

(代議員) みずき野地区は内容的にほとんどできている。守谷地区は5ブロックに分かれていて、他地区のように進んでない。

(代議員) みずき野は町内会活動がまちづくり協議会にスライドしている訳ではない。町内会はまちづくり協議会の1部門にあたる。みずき野には他にも様々なサークル等があり、それらを包括してまとめようとしているのが、みずき野のまちづくり協議会である。地域福祉活動計画実行委員会だけでなく、それらを含めて膨らませていける仕組みにしていけばいいのではないかとこの協議を行っているところである。既に協議会ができあがっている訳ではない。

(代議員) 「まちづくり協議会とは何なのか」という考えが自分の中である。1月のシンポジウムに参加した際に、将来、人口減少・税収減少となるので補助金等を分配しなければならなくなるという話だったと記憶している。それは理解できるが、「まちづくり協議会は皆さんで実施してください。」という点が理解できない。その点について皆さんは了解しているのか。

(代議員) 了解したうえで協議をしている。

(代議員) 市から内容は提示されているので理解もしている。市からの提示内容を見ると、現在みずき野で実施していることがほとんど重複するような案件ばかりなので、当初は、体系としては町内会がやっていることをそのままやれば大丈夫そうだという考えでいたが、協議を重ねているうちに、町内会にはない部分の補完も考えられてきたので、市が提案している形で協議会を作った方が良いという考えになってきた。

(代議員) 守谷地区は5ブロックに分かれており、みずき野地区のようにはないので苦慮している。

(代議員) 市は旧守谷地区を1つにまとめようとしている。

(事務局) まちづくり協議会は、地域福祉活動計画実行委員会が6地区に分かれて実施しているので、まずはその範囲で考えていただきたいということでお願いをしている。理想としては6地区の実行委員会がそのまま、まちづくり協議会になってもらい、さらにそこに様々な団体を巻き込んで実施・活動してもらえればと考えている。地域福祉活動計画実行委員会に町内会が加わってまちづくり協議会になることが理想だが、区長が1年で交代してしまうという問題もあるので、実行委員会の方々を中心に協議いただいている状況である。例えば北守谷地区では、実行委員会の皆さんと北連協の皆さんで協議を行い、まちづくり協議会を組

織しようとしている。大野地区では大野公民館運営協力員の方々と一緒になってやるよう進めている。高野地区も実行委員会が中心となって協議しており、区長の参画は難しいと考え、経験者を取り込むようにしている。地区によって取り組み方が様々である。市としては、守谷地区はブロックごとに活動しているが、地区としては「守谷地区」として組織されているので、まずは「守谷地区」として考えていただきたいと思っている。ただし、皆さんの総意・合意形成が得られれば、ブロックごとに協議会を組織するという方法でも良いと思う。

(代議員) 我々は守谷地区をいくつかに分けて実施する方が良いと思っている。

(事務局) 基本イメージとして6地区でのイメージをお示ししているが、地区の総意でブロックごとに組織いただくのは可能である。

(代議員) 各地区それぞれ状況が異なる。守谷地区内でも場所ごとに課題等は異なる。地区にあったやり方をするのが一番良いと思う。

(代議員) 市の方で守谷地区を分割するような指示をしてほしい。自分たちではできない。

(代議員) 守谷支部でもすでに何度か協議はしている。一気に大きな範囲で協議会を作ることは難しいから、ブロックごとで考えてもらおうという話もあった。難しく考えずに、できる地区から進めていけばいいのではないかな。

(事務局) おっしゃるとおりで、あまり難しく考える必要はないと思っている。その地区によって実施できるものを実施していただきたい。現在守谷支部は5ブロックに分かれて活動しているが、そのまま何も変えずに実施してもらえばいい。名称が「まちづくり協議会」となっても実施内容は今までどおりでも構わない。もし、市の方でブロック分けしてほしいと言うのであれば調整させていただくことは可能である。まずは地区内の総意をもって、どうするのかを決めていただければと思う。

(会長) 柴田氏から提案のあった他2つの案件も含めて、本日協議するには時間も足りないし、簡単に解決できるものでもないなので、今後の課題としていければと思う。今年度の会議回数も残り少ないので、まずは企画書の協議を終了させ、時間があれば協議したいと思うがどうか。

⇒ 異議なし。

②事務局からの連絡事項（県連合会情報交換会の御案内）

（事務局）茨城県自治会連合会から、情報交換会開催の案内があった。※日程等は以下のとおり。【詳細は別途資料参照】出席を希望する場合は、平成31年1月15日（火）までに市民協働推進課へ連絡いただきたい。

日時：平成31年2月7日（木） 午前10時～ （8時10分市役所出発予定）

場所：常陸太田市市民交流センター

内容：①講演「常陸太田市の資源ごみ回収について」

②発表「ふれあいランド谷河原を目指して」

【閉会】